

都市公園を活用した保育所整備の先行事例

資料6

【国家戦略特区特例による都市公園への保育所等設置事例】

	所在地	都市公園	公園管理者	整備施設	開設(予定)日	実施主体	参考資料(国家戦略特別区域会議)
1	東京都荒川区	汐入公園	東京都	認可保育所	平成29年4月1日	(福)三樹会	H27.11.26 第7回東京圏・東京都提出資料 P1
2	東京都世田谷区	祖師谷公園	東京都	認可保育所	平成29年4月1日	(福)あすみ福祉会	H28.2.4 第9回東京圏・東京都提出資料 P3
3	東京都世田谷区	蘆花恒春園	東京都	認可保育所	平成29年4月(延期)	(福)世田谷共育舎	H28.3.24 第10回東京圏・東京都提出資料 P8
4	東京都品川区	西大井広場公園	品川区	認可保育所	平成29年4月1日	(株)こどもの森	H28.3.24 第10回東京圏・東京都提出資料 P8
5	神奈川県横浜市	反町公園	横浜市	認可保育所	平成29年4月1日	(福)いずみ	H28.3.24 第10回東京圏・神奈川県提出資料 P13
6	東京都渋谷区	代々木公園	東京都	保育所型認定こども園	平成29年10月1日	ナチュラルスマイルジャパン(株)	H28.8.31 第12回東京圏・東京都提出資料 P2
7	大阪府豊中市	羽鷹池公園	豊中市	認可保育所	平成29年10月1日	(福)あけぼの会	H28.8.31 第10回関西圏・大阪府提出資料 P1
8	大阪府豊中市	ふれあい緑地	豊中市	認可保育所	平成29年10月1日	(株)セリオ	H28.8.31 第10回関西圏・大阪府提出資料 P1
9	福岡県福岡市	中比恵公園	福岡市	認可保育所	平成29年4月1日	(福)春陽会	H28.8.31 第7回福岡市・北九州市・福岡市提出資料 P1
10	宮城県仙台市	中山とびのこ公園	仙台市	認可保育所	平成29年4月1日	(福)中山福祉会	H28.8.31 第3回仙台市・仙台市提出資料 P2
11	兵庫県西宮市	久保公園	西宮市	認可保育所	平成30年4月	(福)いちにわたけのこ会	H28.8.31 第11回関西圏・兵庫県提出資料 P1
12	東京都荒川区	宮前公園	荒川区	認可保育所	平成30年4月1日	荒川区	H29.2.10 第15回東京圏・東京都提出資料 P1
13	東京都品川区	しながわ区民公園	品川区	認可保育所	平成30年4月1日	(株)サクセスアカデミー	H29.2.10 第15回東京圏・東京都提出資料 P1
14	大阪府吹田市	高野公園	吹田市	認可保育所	平成31年4月1日	(福)玉川学園	H29.2.10 第12回関西圏・大阪府提出資料 P3
15	東京都江東区	木場公園	東京都	認可保育所	平成30年4月1日	(福)みわの会	H29.4.20 第16回東京圏・東京都提出資料 P3
16	東京都杉並区	和田堀公園	東京都	認可保育所	平成30年4月1日	(福)風の森	H29.4.20 第16回東京圏・東京都提出資料 P3
17	東京都足立区	東綾瀬公園	東京都	認可保育所	平成30年8月	足立区	H29.4.20 第16回東京圏・東京都提出資料 P3

荒川区における都市公園内の保育所設置特例の活用について

- 東京都長期ビジョンでは、平成29年度末までに待機児童を解消するため、保育サービスを4万人増やす目標を掲げ、その実現のために、区市町村や事業者の負担軽減、都有地の減額貸付、国有地・民有地の賃貸料補助など、様々な支援策を実施
- その結果、昨年度増加した保育サービス利用児童数は、目標とした12,000人を超えて12,602人となり、今年4月1日現在の待機児童数は3年ぶりに減少。一方、保育ニーズの増大により、待機児童数はなお7,814人の状況



そうした中、今回の「都市公園内の保育所設置特例」は、特に用地確保が困難な地区の待機児童解消の観点から有効なツール。まず、今回、荒川区と連携し、都立汐入公園における特例の活用を全国に先駆けて提案



今後、世田谷区(都立祖師谷公園・都立蘆花恒春園)や品川区(区立西大井広場公園)においても本特例の活用を予定(現時点で、3区トータルで約400人の定員。今後、更なる拡大に向け関係自治体との調整)

<荒川区 都立汐入公園における特例活用について>

- ・荒川区では、約10年間で2,000人を超える保育定員の拡大を図り、昨年4月の待機児童数は8人まで減少したが、マンション建設・女性の社会進出等により、今年4月は48人に増加。再開発で整備された当該汐入地区は、ファミリー世帯の急増により保育施設が不足。
- ・これまで、学校の増設校舎を活用した、しおり保育室(定員99人)や、神社の駐車場を区が借り受け事業者に転貸した、にじの樹保育園(定員176人)等の保育施設を整備。重点的に待機児童対策を行ってきたが、再開発地区内でこれ以上の用地確保は困難な状況。



今回の特例を活用して、都立汐入公園内に定員162人(予定)の0~5歳児までの保育園を整備。今後、同様に用地確保が困難な尾久地区では、区立宮前公園において本特例の活用を予定。

<適用区域>



保育所概要

所在地：都立汐入公園内(現在多目的広場)
実施主体：社会福祉法人三樹会 占用面積：約1,500㎡
整備施設：認可保育所 定員：162人(予定) 開設日：平成29年4月1日(予定)
※屋上部分に整備される園庭を、ゲートボールなどの地域の利用に開放

<イメージパース>



世田谷区における都市公園内の保育所設置特例の活用について

○ 東京都における昨年4月1日現在の待機児童数は3年ぶりに減少。一方、保育ニーズの増大により、待機児童数はなお7,814人の状況

➡ 今回は、待機児童数が全国最多の世田谷区と連携し、都立祖師谷公園における特例の活用を提案、用地確保が困難な地区の待機児童解消に貢献

➡ 前回の荒川区(都立汐入公園:定員162人(予定))に加え、今後、世田谷区(都立蘆花恒春園:定員約80人)や品川区(区立西大井広場公園:定員約90人・区立しながわ区民公園:定員約90人)においても本特例の活用を予定(現時点で、3区トータルで約500人の定員。今後、更なる拡大に向け関係自治体との調整)

<世田谷区 都立祖師谷公園における特例活用について>

- ・ 世田谷区では、平成20年4月から平成27年4月までの6年間で約5,600人の保育定員の拡大を図ったが、近年の就学前人口の増加などによる保育ニーズの高まりにより、平成27年4月の待機児童数は1,182人となり、3年連続で全国最多となった。
- ・ 待機児童の解消に向け、平成32年4月までに保育定員約20,000人分(約5,200人の増)の確保を目指し、公有地の他、民有地を活用した認可保育園等の整備に全力で取り組んでいるが、都立祖師谷公園周辺地域を含め用地の確保が非常に困難な状況である。

➡ 今回の特例を活用して、都立祖師谷公園内に定員約80人の保育園を整備。近隣の区有地に整備予定の定員約50人の保育園と連携して一体的に運営。今後、同様に周辺地域の用地確保が困難な都立蘆花恒春園において本特例の活用を予定。

<適用区域>

都立祖師谷公園

区有地内に整備
(定員約50人(予定)、
0~2歳児対象)

保育所概要

所在地：都立祖師谷公園内(現在広場)
実施主体：社会福祉法人あすみ福祉会 占有面積：約1,000㎡
整備施設：認可保育所 定員：約80人(予定) 開設日：平成29年4月1日(予定)
※保育所敷地の緑化により、みどり豊かな公園の風致美観に配慮。

<イメージパース>

一体的運営

祖師谷公園内に整備
(定員約80人(予定)、3~5歳児対象、
開園当初は0~5歳児対象)



世田谷区・品川区における都市公園内の保育所設置特例の活用について

○ 東京都における昨年4月1日現在の待機児童数は3年ぶりに減少。一方、保育ニーズの増大により、待機児童数はなお7,814人の状況



今回は、世田谷区・品川区と連携し、都立蘆花恒春園・区立西大井広場公園における特例の活用を提案、用地確保が困難な地区の待機児童解消に貢献



これまでの荒川区 都立汐入公園(定員162人(予定))・世田谷区 都立祖師谷公園(定員80人(予定))に加え、今後、品川区 区立しながわ区民公園(定員約90人)においても本特例の活用を予定
(現時点で、3区トータルで約500人の定員。今後、更なる拡大に向け関係自治体との調整)

<世田谷区 都立蘆花恒春園>

- ・世田谷区では、平成27年4月までの6年間で約5,600人の保育定員の拡大を図ったが、同年4月の待機児童数は1,182人となり、3年連続で全国最多。
- ・待機児童の解消に向け、保育所整備に取り組んでいるが、用地確保が困難。



今回の特例を活用して、周辺地域の用地確保が困難な都立蘆花恒春園内に定員84人の0～5歳児までの保育園を整備。

保育所概要

所在地：都立蘆花恒春園内 実施主体：社会福祉法人世田谷共育舎
 占用面積：約1,000㎡ 整備施設：認可保育所
 定員：84人(予定) 開設日：平成29年4月1日(予定)
 ※日本的な空間づくりにより、徳富蘆花旧邸との調和を図り、地域景観に配慮。

<適用区域>



<イメージパース>



蘆花恒春園内に整備
定員 84人(予定)
(0～5歳)

<品川区 区立西大井広場公園>

- ・待機児童の解消に向け、保育の受け入れ枠を平成22年度から平成27年度の6年間で3624人の拡大を実現したが、就学前人口や認可保育園等への入園申込みの増加により、平成27年4月1日現在の待機児童数は215人(前年128人)と増加している。
- ・就学前人口は平成28年1月1日現在19,539人と、前年同月と比較して800人以上増加した。また人口の増加に加え、女性の就労状況等による保育需要の増加も見込まれるところである。



今回の特例を活用して、区立西大井広場公園内に定員約100人の保育園を整備。

保育所概要

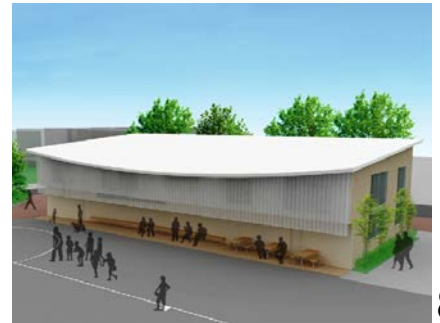
所在地：区立西大井広場公園 実施主体：株式会社こどもの森
 占用面積：約500㎡ 整備施設：認可保育所 定員：100人(予定)
 開設日：平成29年4月1日(予定)
 ※駅に近く利便性が高い。また当該公園は、利用者が多く、地域交流の場としても有効に利用できる。

<適用区域>



西大井広場公園内に整備
定員 100人(予定) (0～5歳)

<イメージパース>



※品川区提供

都市公園占用保育所等施設設置事業

都市公園内に保育所設置を可能とし、女性の活躍支援と待機児童の解消！

横浜市の保育所等利用申請者数は過去最大の57,526人(平成27年4月1日現在)

計画認定

横浜市の待機児童対策の課題



物件の確保が困難

保育ニーズの増大



保留児童が増加



横浜市立反町公園内に保育所設置

神奈川区は市内で最も保育所の利用率が高く、ニーズも増大。新たな保育所の整備が急務。

公園内の旧管理詰所を有効活用し、社会福祉法人に貸与して改修。法人が新たな保育所を運営。

【保育所の概要(実施主体:横浜市)】

- ・認可保育所(定員は20人~40人(予定))
- ・平成29年4月1日開設(予定)

<適用区域>
横浜市立反町公園



<旧管理詰所>



女性の活躍推進

(1) 都市公園内の保育所設置特例等の活用について

<渋谷区 都立代々木公園における特例活用>

- ・ 渋谷区はこれまで、待機児童解消のために民有地の購入や区有地・区施設の活用等実施してきたが、さらなる用地確保は困難な状況。
- ・ しかし、待機児童は315人（今年4月）で増加傾向。特に、代々木公園周辺地区は0～2歳児が多い。



特例を活用して、都立代々木公園内の原宿側に保育所定員122人（予定）の0～5歳児までの認定こども園を整備。

<適用区域>



施設概要

所在地：都立代々木公園内原宿門付近
実施主体：ナチュラルマイルジャパン株式会社
占用面積：約900㎡
整備施設：保育所型認定こども園
（児童福祉法39条第1項に基づく保育所）
開設日：平成29年10月1日（予定）
定員：保育所122人、幼稚園6人（予定）

<イメージパース>



- 既に認定済の4件の定員（約430人）に加え、今回提案する代々木公園への設置で合計の定員は約550人
- 東京都は、まずは1000人を目指し、関係自治体との調整を進めていく方針

豊中市における都市公園内の保育所設置特例の活用について

- 大阪府では、都市部を中心に待機児童は増加傾向(平成28年4月時点で待機児童数1,434人。前年度比69人増。)。既存ストックの活用も念頭に更なる保育の受け皿整備の促進が必要。
- 豊中市の待機児童数(平成27年4月時点)は253人(大阪府内で最多)。平成28年4月現在217人(前年度比36人減)。
- 豊中市子育て・子育て支援行動計画では、平成30年度当初に待機児童を解消するため、保育の受け皿を約1,400人分増やす目標を掲げ、その実現のために、市有地の活用、国有地、民有地でのマッチング事業、新規事業者の参入促進など多様な手法により保育所等の整備を実施。
- 保育所等の整備を実施するうえでの課題：住宅都市であり待機児童が多い地域に保育所等に適した用地の確保が困難

→ 都市公園内の保育所設置特例の活用により、豊中市内の市立羽鷹池公園・市立ふれあい緑地に保育所を設置し、増加する保育需要へ対応(トータル約156人分の定員)。

→ さらに交流の場としての取り組みをとおり、地域における子育て環境の充実や地域コミュニティの活性化へ寄与するとともに都市公園の魅力向上につながるなどの相乗効果が期待できる。

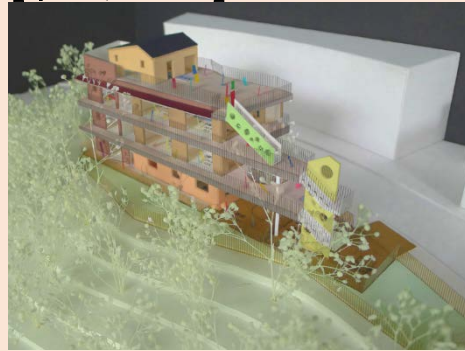
<豊中市 市立羽鷹池公園>

所在地：市立羽鷹池公園内 実施主体：社会福祉法人あけぼの会
 占用面積：約360㎡ 整備施設：認可保育所
 定員：76人(予定)(0~5歳児)
 開設日：平成29年10月1日(予定)
 ※駅に近く利便性が高い。公園利用者が子育て相談やおむつ替えなどが可能な赤ちゃんの駅としての有効利用も想定。

【適用区域】



【イメージパース】



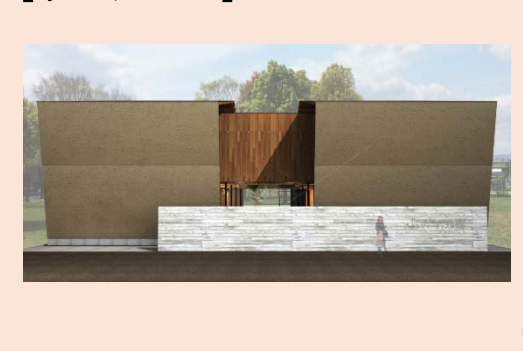
<豊中市 市立ふれあい緑地>

所在地：市立ふれあい緑地内 実施主体：株式会社セリオ
 占用面積：約500㎡ 整備施設：認可保育所
 定員：80人(予定)(0~5歳児)
 開設日：平成29年10月1日(予定)
 ※公園利用者が子育て相談やおむつ替えなどが可能な赤ちゃんの駅としての有効利用も想定。

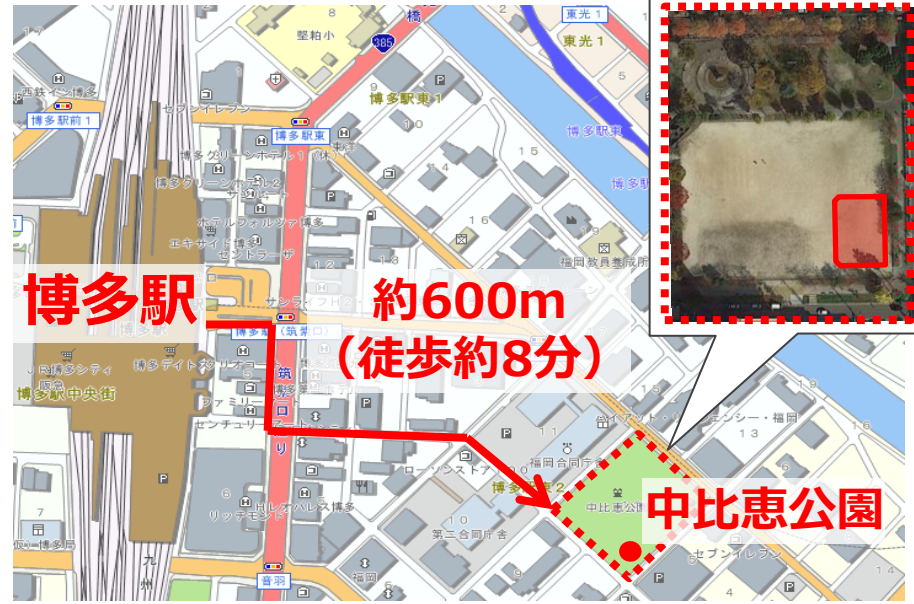
【適用区域】



【イメージパース】



博多駅至近の都市公園内に整備！ 都心部の保育所不足に対応！



「保育所整備概要」

所在地	福岡市博多区中比恵公園内
実施主体	社会福祉法人 春陽会
占有面積	647㎡
定員	90人
開設	平成29年4月予定

グローバル創業・雇用創出特区として
女性の働きやすい環境づくりを推進



ポイント

- ▶ 仙台市における待機児童数は213人（平成28年4月1日現在）。
⇒昨年同期比で206人減少したが、引き続き待機児童解消に向けた取組が必要な状況。
- ▶ 待機児童対策として、保育需要が高い地域における保育所整備は急務。
⇒しかし、保育所用地の確保が極めて困難であることを理由に、一部地域においては、保育所整備が進んでいない状況。
- ▶ 地域団体より、社会福祉法人設立の上、地域の都市公園内に保育所を設置運営したい旨要望あり。

都市公園内に保育所を設置することで、待機児童解消に貢献するとともに、子育て世代の定住を促進し、一層活気ある地域づくりを実現。

中山とびのこ公園内保育所の概要

所在地：仙台市青葉区中山とびのこ公園内
 実施主体：社会福祉法人中山福祉会（新設）
 占用面積：2060.28㎡
 整備施設：認可保育所
 定員：90名（0～5歳児対象）
 開設日：平成29年4月1日（予定）



保育所のイメージ



1 今回、区域計画に追加予定の特定事業

西宮市における都市公園占用保育所等施設設置事業 ～都市公園内での保育所開設による待機児童の解消促進～

社会福祉法人いちにわたけのこ会が、都市公園の占用許可基準の特例を活用して、**西宮市立久保公園内に保育所を開設**することにより、**待機児童の解消を促進**

■実施主体

社会福祉法人
いちにわたけのこ会

■占用面積

約600㎡

■施設概要

鉄骨造2階建て
建築面積 約300㎡
延床面積 約600㎡

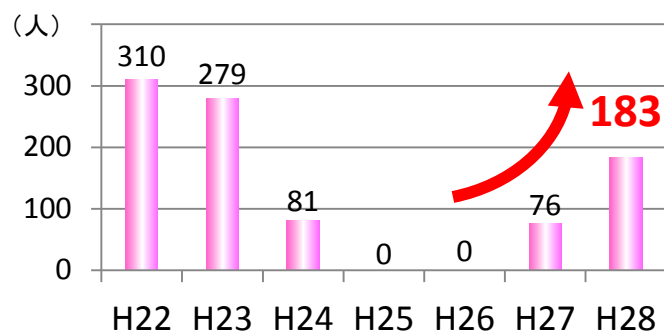
■定員

60人(0～5歳児対象)

■開設時期

平成30年4月(予定)

〈西宮市の待機児童数(各年4/1時点)〉



特区を活用した都市公園内の保育所設置の推進

○今回提案の荒川区立宮前公園・品川区立しながわ区民公園における活用で、東京都内の特区活用定員は約800人

○今後とも、1000人以上を目指して、関係自治体との調整を進めていく方針

<荒川区 区立宮前公園における特例活用について>



施設概要

所在地 : 荒川区立宮前公園内
 実施主体 : 荒川区
 整備施設 : 児童福祉法第39条第1項に基づく保育所
 定員 : 160人程度(予定) 開設日 : 平成30年4月1日(予定)

小台橋保育園
 (現行定員159人)の建替え時に仮移転
 ↓ (建替え終了後)
 西尾久保育園
 (現行定員72人)を移転・定員拡大

○待機児童解消に向けた
 保育定員の拡大
 ○老朽化した2つの保育園の更新

今回の特例活用内容は、今後、「荒川モデル」として全国的に発信すべき

<品川区 区立しながわ区民公園における特例活用について>



定員92人(予定)
 0~5歳児の保育園

<イメージパース>



施設概要

所在地 : 品川区立しながわ区民公園内
 実施主体 : 株式会社サクセスアカデミー 占用面積 : 約500㎡
 整備施設 : 児童福祉法第39条第1項に基づく保育所
 定員 : 92人(予定) 開設日 : 平成30年4月1日(予定)

・品川区では、緊急課題である待機児童対策に取り組み、平成22年度から平成28年度までに4,463人の受入れ枠の拡大を図ってきたが、就学前人口と保育所等への入園申込者数の増加により、平成28年4月現在の待機児童数は178人(前年同期215人)となっている。

・区では引き続き増大する保育需要に対応するため、国家戦略特別区域制度を活用し、勝島3丁目の区立しながわ区民公園内において、公園占用により、定員92人の認可保育所を整備する。

吹田市における都市公園内の保育所設置特例の活用について

大阪府の状況

- ・大阪府では、都市部を中心に待機児童は増加傾向（平成28年4月時点で待機児童数1,434人、前年度比69人増）。
- ・既存ストックの活用も念頭にさらなる保育の受け皿整備の促進が必要。

吹田市の状況

- ・吹田市の待機児童数は、平成28年4月時点で230人、前年度比140人増（増加数は全国第5位）。
- ・就学前児童数や保育利用希望者が増加中（就学前児童数:平成28年4月時点21,388人、前年比653人(約3.1%)増。保育所利用申込み数:平成28年度2,481人、前年度比373人(約17.7%)増。※平成29年度2,703人)。※速報値。
- ・保育所等の整備を行う上での課題:待機児童が多い地域に保育所等に適した用地の確保が困難。
- ・吹田市では、市庁舎敷地や小学校敷地の活用、市立幼稚園の認定こども園化など、多様な手法を用いて、保育の質を下げることなく受け皿を確保するための施策を、待機児童解消アクションプランとしてまとめ、平成28年度からの3年間で2,150人分の保育の受け皿を確保する。



都市公園内の保育所設置特例の活用により、吹田市の高野公園(南千里市民プール跡地)に保育所を設置し、特に利用希望者の多い阪急南千里駅周辺の保育需要へ対応(120人分)。【待機児童解消アクションプラン】

【施設概要】

所在地 : 吹田市高野台1丁目4番
公園名 : 高野公園 約27,000㎡
設置主体 : 社会福祉法人玉川学園
占用面積 : 2,696.25㎡
整備施設 : 保育所 (木造 平屋建て)
定員 : 120名(0歳児~5歳児)
開設日 : 平成31年4月1日(予定)

<吹田市 高野公園>

【適用区域】



【イメージパース】



※都市公園としての風致及び美観に配慮するため、保育所の敷地は、道路から直接乗り入れが可能な位置に配置し、園舎は平屋建てとします。

特区を活用した待機児童対策

(1) 都市公園内の保育所設置特例の活用について

認定事案

- 東京都はこれまで都市公園内の保育所等設置特例を積極的に活用し、特区による保育所定員は約800人
- 今回の3つの都立公園(江東区 都立木場公園、杉並区 都立和田堀公園、足立区 都立東綾瀬公園)における特例活用提案で約1200人の定員を確保

<江東区 都立木場公園>

施設概要

所在地 : 東京都立木場公園内
 実施主体 : 社会福祉法人みわの会
 占用面積 : 約850㎡
 整備施設 : 児童福祉法第39条
 第1項に基づく保育所
 定員 : 130名(予定)
 開設日 : 平成30年4月1日(予定)

<適用区域>



<杉並区 都立和田堀公園>

施設概要

所在地 : 東京都立和田堀公園内
 実施主体 : 社会福祉法人風の森
 占用面積 : 約900㎡
 整備施設 : 児童福祉法第39条
 第1項に基づく保育所
 定員 : 120名(予定)
 開設日 : 平成30年4月1日(予定)

<適用区域>



計画地

<足立区 都立東綾瀬公園>

施設概要

所在地 : 東京都立東綾瀬公園内
 実施主体 : 足立区 (公設公営)
 占用面積 : 約900㎡
 整備施設 : 児童福祉法第39条
 第1項に基づく保育所
 定員 : 130名(予定)
 開設日 : 平成30年8月(予定)

<適用区域>



計画地